

浜名湖ロマン十景

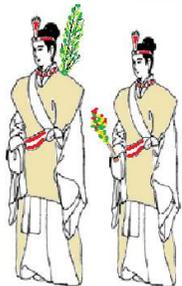
幸運を手にする 浜名湖巡り。

浜名神戸と浜名惣社神名宮



社殿は伊勢神宮に向いており、伊勢神宮からの日の出の地である。元伊勢伝説の地。

機織りの祖神として、初生衣神社がある。



瀬戸と猪鼻湖神社



湖内に突き出た珍しい岩からなる神社。

嵩山とトキワマンサク

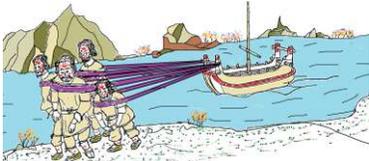
神聖な神座の地に、祭祀に用いる紙垂の原型と思われるトキワマンサクがある。

中腹に神座古墳群がある。



白須賀と浜名川

遠方からの船は、浜名川を上り、浜名湖へ入る。



江尻鼻と瞳水面

浜名湖の瞳水面と浜名三橋が見える。



新居浜と浜名橋

太平洋から見えたともしれない古代の角避比古神社と浜名橋。

井の国と天白磐座遺跡

古代の神聖な巨石祭祀場。



細江神社と滯標(みおつくし)

1300年前から船の出入りがあり、出雲や難波とかわりが深い。



銅鐸出土地点数日本一。外海からの船による、湖畔文化圏が成立していたようだ。



内浦と曾許乃御立神社



茨城県の鹿島神宮との関わり合いが深い。船の往来があったようだ。当時は館山寺の湾は船で埋め尽くされたかもしれない。



浜名湖ロマン叙事詩

紀元の始め、アジア大陸に大乱が起こり身に迫る乱の中、多くの人々が新天地を求め、海を渡った。太平洋側を航海した高度の文化を持った人々は、日本の魅力ある地上陸し、それぞれ活動拠点を設けた。その一つが浜名湖畔であった。

浜名湖畔の活動拠点は聖地として崇められ、船の交流を通じて、新しい湖畔文化圏が形成され、同時に日本の建国に大きく寄与した事が推測される。

先人の苦難と努力により誕生した聖地である浜名湖畔は、現在も幸運の舞い降りる地として、人々に恩恵を与えている。

弁天島と今切舞阪港



天変地異に耐えた、この地の海産物を食する事により、運気を高められそうだ。



古墳時代の船塹輪 松阪市出土。